

第131回 経営協議会（定例）議事要旨

日 時 令和4年1月27日（木）13：29～15：10
場 所 事務局特別会議室（4階）

- 議題1. 「国立大学法人鹿児島大学経営協議会における学長候補適任者の推薦に関する申合せ」の一部改正について（資料1）
- 議題2. 国立大学法人鹿児島大学業務方法書の変更の認可申請について（資料2）
- 議題3. 第4期中期目標（原案）・中期計画（案）について（資料3）
- 議題4. 国立大学法人鹿児島大学会計規程の一部改正について（資料4）
- 議題5. 令和4年度学内予算編成方針（案）について（資料5）
- 報告事項1. 令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果等について（資料6）
- 報告事項2. 共同研究講座「DDS創薬学共同研究講座」の設置について（資料7）
- 報告事項3. 本学教育研究評議会での審議事項等について（資料8）
- 報告事項4. 記者発表事項等について（資料9）
- 協議事項1. 臨床心理学研究科及び連合農学研究科の経営の現状と今後について（資料10）

その他

[出席委員] 12名

佐野学長

(理事) 馬場、越塩、岩井、武隈

(学内委員) 坂本、田頭

(学外有識者) 池田、坪内、津曲、中村、福元

[欠席委員] 3名

(理事)

(学外有識者) 上村、塩田、山野

[オブザーバー]

(理事) 石窪、萩元

(監事) 日高、松枝

(副学長) 森、渡邊

(学部長等) 中原、寺田

(副研究科長) 廣瀬、三好（全員協議事項1のみ）

《以下 Web会議参加》

(学部長等) 松田、有倉、岡村、橋口、西村、木下、橋本、佐久間、三角、山口、井戸

- 議題1. 「国立大学法人鹿児島大学経営協議会における学長候補適任者の推薦に関する申合せ」の一部改正について（資料1）

学長から、「国立大学法人鹿児島大学経営協議会における学長候補適任者の推薦に関する申合せ」の一部改正について諮られ、越塩理事から、令和4年4月1日付け施行の国立大学法人法の改正及び書面主義、押印原則等への対応に伴い、経営協議会における学長候補適任者の推薦に関する申合せの改正を行うこと、学長選考会議委員の意見も反映し学長選考会議で審議する規則等と同様の改正内容であること、施行日は令和4年4月1日であること等資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

議題2. 国立大学法人鹿児島大学業務方法書の変更の認可申請について（資料2）

学長から、国立大学法人鹿児島大学業務方法書の変更の認可申請について諮られ、越塩理事から、国立大学法人法施行規則の一部を改正する省令の公布及び法令改正に伴う各国立大学法人等の業務方法書の変更の基づき、業務方法書を変更すること、施行日は令和4年4月1日であること等資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

議題3. 第4期中期目標（原案）・中期計画（案）について（資料3）

学長から、第4期中期目標（原案）・中期計画（案）について諮られ、岩井理事から、国立大学法人評価委員会から示された「国立大学法人の中期目標及び中期計画の素案についての意見等」も踏まえ、第4期中期目標（原案）・中期計画（案）を取りまとめたこと、今後の修正は学長一任とすること等資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

なお、学外委員から、競争的資金獲得が難しい基礎研究や人文社会科学分野の支援体制を充実させること、データ主義の中、データに表れないことを判断していくことが重要であること等発言があった。

議題4. 国立大学法人鹿児島大学会計規程の一部改正について（資料4）

学長から、国立大学法人鹿児島大学会計規程の一部改正について諮られ、事務局長から、会計書類保存期間の適正化、年度計画廃止に伴う所要の改正及び月次決算の学長提出に関する記述の削除等、会計規程を改正すること、施行日は令和4年4月1日であること、本規程は改正後に文部科学省へ報告が必要であること等資料に基づき説明があり、種々意見交換が行われ、審議の結果、了承された。

なお、学外委員から、役員が大学の収支状況、損益状況をしっかり把握することが必要であるため、決算等の定期的な報告等を制度化すべきであること等発言があった。

議題5. 令和4年度学内予算編成方針（案）について（資料5）

学長から、令和4年度学内予算編成方針（案）について諮られ、事務局長から、令和4年度における運営費交付金等予定額伝達を踏まえ、学内当初予算を作成する際に予算編成の具体的な考え方を示した基本方針を作成したこと、予算編成方針は、国立大学法人鹿児島大学予算規則第7条により、学長が策定する旨規定されていること等資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

報告事項1. 令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果等について（資料6）

令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果等について、資料による報告があった。

報告事項2. 共同研究講座「DDS創薬学共同研究講座」の設置について（資料7）

共同研究講座「DDS創薬学共同研究講座」の設置について、資料による報告があった。

報告事項3. 本学教育研究評議会での審議事項等について（資料8）

本学での動向等を把握していただくために教育研究評議会での審議事項等を添付している旨

説明があった。

報告事項4．記者発表事項等について（資料9）

本学の最近の主な記者発表事項等の記事を添付している旨の説明があった。

協議事項1．臨床心理学研究科及び連合農学研究科の経営の現状と今後について（資料10）

学長から、今回の協議事項は、臨床心理学研究科の経営の現状と今後について提案した旨説明があり、引き続き、中原臨床心理学研究科長から、臨床心理学研究科の経営の現状と今後について、資料に基づき説明があった。

なお、連合農学研究科は、時間の関係上、次回説明することとなった。

説明の後、各委員から次のような意見等があった。

- ① 社会的貢献度が非常に高い研究科なので、それが評価される工夫が必要である。スクールカウンセラー等、まだ人員が不足して現場は困っている。さらに、働き方改革等あり、ストレスチェック等、色々な所で実施されているが、現場ではその解決策がとれていない、新型コロナウイルス関係での医療現場の看護師の疲弊も問題であり、その辺りも活躍の場になるのではないかと。また、ストレスチェック、カウンセリング等を組織でどう改善すべきか検討していただきたい。
- ② 大学病院、市立病院等と連携して科学研究費のテーマを探し、現場で本当に求めている課題を解決するための研究に取り組むと、採択されやすいのではないかと。また、市立病院の現場等で協力できることがあれば協力したい。

その他

次回（定例）は、令和4年3月16日（水）13時30分からとなった。